

日付。こういう文書に「吉日」は不可

〇〇年〇月〇日

〇〇保育園 園長 〇〇〇〇

保護者の皆さまへ

または、トマト

管理者名で

当園ではこれまで毎年、食育の一環としてミニトマトを園庭で栽培してまいりました。子どもたちもトマトが育つ様子を観察しながら、世話をしてきました。

園はリスクを認識しており、国・自治体の発信も受け止めている旨を明言する

柵で囲まれた畑などであれば安全なのかもしれませんが、念のため、同様の手紙で保護者の意見を聞いたほうがよいと思います。

しかしながらニュース等でもご存じの通り、最近、乳幼児の誤嚥窒息事故が社会的にも問題となっております。「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」(2016年3月、内閣府)でも、「白玉風のだんご、丸のままのミニトマト等は(給食に)使用しないことが望ましい」との記載がなされました。この内容は食事のミニトマトを指していますが、一方、栽培のミニトマト、トマトの場合、保育者が見ていないところで、緑の小さいものであっても子どもが口にする危険性があります。緑のものによる死亡事例もあるようです。そのため、私どもといたしましてもミニトマト栽培の中止を決めた次第です。

このリスクに対する自園の取り組み

または、トマト

(または、「そのため」以降を…) そのため、トマトを網で囲いました。来年以降の栽培については、これから検討してまいります。

類似リスクに対する自園の取り組み

ミニトマトや白玉以外の食べ物、玩具等でも子どもの誤嚥窒息は起きますので、園としてはミニトマト栽培以外でも見直しを進めてまいります。食事のミニトマトは半分に切って提供しております。

また、子どもは「急に息を吸い込んだ時」が危険なため、遊び食べをしない(大きな声で笑いながら食べない)、泣いている時に食べさせたり飲ませたりしない、口に食べ物や玩具が入っている時にビックリさせない、歩きまわらせない(つまづく等が危険)といった注意もしております。

家庭の深刻事故についても注意喚起

類似リスクに対する自園の取り組みでありつつ、保護者に対する情報提供でもある

食物や玩具による子どもの誤嚥窒息については、インターネット上などでも情報が出ておりますので、ご家庭でもお気をつけください。私どもも、お子さまの嚥下や咀嚼の発達について個別にお伝えしていきます。

ご意見やご質問、お気づきの点などありましたら、いつでもお声がけくださいますよう、よろしくお願いいたします。

「いつでも、なんでも言ってくださいね」